ツアー番号
LKSEQXBWSP

セイロン エンディアメント（26日間）

22日間・21泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この26日間のツアーは島全体を巡るもので、南西海岸から出発してコロンボ近郊に戻り、ビーチ、野生動物公園、山岳地帯、文化三角地帯の古都、そして北部のジャフナ半島を含みます。移動はプライベートシャフェール運転のクルマで行われ、ルートはリラックスしたペースで進み、急ぎ足で観光地を巡るのではなく、ほとんどの場所で2〜3泊の時間をとります。

この道中、ヒッカドゥワとミリッサのビーチでの時間、ヤラ国立公園でのサファリ、エラとヌワラエリヤ周辺でのハイキングと景観列車の乗車、キャンディの文化的見どころ、シギリヤ、ポロンナルワ、ダンブッラ、アヌラーダプラの古都、トリンコマリーの海岸と寺院、ジャフナのヒンドゥー教寺院と島の神社があり、その後コロンボとネゴンボ経由で南に戻ります。旅行者は植民地時代の歴史、仏教とヒンドゥー教の遺産、高地の景観、国立公園、そして海岸線を1つの継続した旅で幅広く体験できます。

このツアーは国内で運営され、専任のシャフェールガイドが終始同行し、空港送迎、運転、立ち寄り地間の日々のロジスティクスを担当します。



日程詳細

1日目 ヒッカドゥワ & ゴール(1〜3日目)

空港到着後、専属のショーファーガイドがお出迎えし、ゴール南部州のビーチリゾートタウン、ヒッカドゥワへご案内します。サンゴ礁に縁取られたビーチでくつろいだ後、植民地時代の面影を残すゴールの街とその周辺の海岸を探訪します。

ヒッカドゥワ・ビーチ

サンゴ礁に囲まれた美しい海で知られるビーチリゾートタウンです。到着後はここにチェックインし、夕方はのんびりとお過ごしいただけます。



ゴールの旧市街

アジアでも屈指の保存状態を誇るゴール・フォートを探訪します。ポルトガルによって築かれ、後にオランダによって整備されたこの要塞では、館内の博物館や灯台を見学し、オランダ語由来の名前が残る石畳の通りを歩きます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

「ヴァージン・ホワイトティー工場」としても知られ、人の手に一切触れずに摘み取られ加工される、有名なヴァージン・ホワイトティーの製造現場です。紅茶の歴史を学び、紅茶とチョコレートケーキのテイスティングを楽しみ、お土産として茶葉を購入できます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ルマッサラの丘

ゴールの東3キロに位置し、白い仏塔が頂に立つ丘で、ウナワトゥナ・ビーチのランドマークとして知られています。ハヌマーンがドロナギリ山を運ぶ際にスリランカに落下したとされる5つの場所の一つであり、シータがこの島に滞在した際の伝説にも関連しています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



高床式の漁師たち

コッガラ沿岸の海上で、何世代にもわたり受け継がれてきた高床式の漁法を行う漁師たちの姿を眺めます。漁師自身からその発展の経緯や漁の方法について話を聞くことができます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

4日目 ミリッサ(4〜5日目)

ウェリガマ湾東端に位置するミリッサのビーチで、2日間のんびりとお過ごしいただきます。砂浜でくつろぐほか、パロット・ロックやココナッツ・ツリー・ヒルなど近隣の見どころを訪れる時間もあります。



ミリッサ・ビーチ

ウェリガマ湾の東端に広がる三日月形のビーチで、その湾曲した砂浜からは、まるでヤシの木に覆われた隠れ島にいるかのような感覚を味わえます。2日間、ゆったりとした時間をお過ごしください。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

6日目 ヤーラ(6〜7日目)

ヤーラへ向かう道中、ウミガメの孵化場と、荒涼とした独特の風景が広がるウッサンゴダに立ち寄ります。その後は終日、ヤーラ国立公園でサファリをお楽しみいただきます。

ウミガメ孵化場

スリランカの海岸を訪れる5種の絶滅危惧種のウミガメについて学び、レカワ・ウミガメ孵化場で行われている保護活動について知ることができます。昼間のウミガメ観察やボランティア参加の機会もあります。



ウッサンゴダ

蛇紋岩に含まれる有毒な重金属のため、特定の小さな植物しか生育できず、木がほとんど見られない沿岸地域です。地元の伝説では、この荒涼とした地形はハヌマーンの燃える尻尾に、また高原はラーヴァナ王が戦車の発着場として使用したことに由来するとも語られています。

A.Savin · FAL



ヤーラ国立公園

スリランカ南東海岸に位置する、同国で2番目に広い国立公園での終日サファリです。スリランカヒョウやアジアスイギュウ、ナマケグマ、ゾウの群れをはじめ、数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類に出会うチャンスがあります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

8日目 エラ & ヌワラエリヤ(8〜10日目)

内陸の高原地帯の町エラへ向かい、寺院巡りとハイキングを楽しんだ後、風光明媚な鉄道の旅でかつての英国の避暑地ヌワラエリヤへ。植民地時代の面影を残す通りを散策します。



ブドゥルワガラ寺院

10世紀に遡る、大乗仏教に属する7体の仏像群からなる古代仏教寺院遺跡です。最大の仏像には、かつての漆喰仕上げの衣や彩色の痕跡が今も残っており、脇に控える像の一つは観音菩薩を表しているとされています。

Vishvax (talk) (Uploads) · CC BY-SA 3.0



エラ

茶畑や岩がちな地形を歩き、リトル・アダムス・ピークを望みながら、ナイン・アーチ・ブリッジを渡り、独特のループ線路を持つデモダラ駅で締めくくります。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

エラ・ロック

この地域で最も高い展望地の一つへ向かう、約3時間のハイキングです。道中ではナムヌクラ山脈やリトル・アダムス・ピークの景色を楽しめ、頂上からはバンダラウェラ山脈、プーナガラ丘陵、ナランガラ、そしてエラ・ギャップを一望できます。



風光明媚な鉄道の旅

ハプタレーからヌワラエリヤまで、茶畑地帯を抜ける鉄道の旅です。滝や霧に包まれた村々、森林を眺めながら進み、線路のすぐ脇に迫る急な崖も見どころです。

Chamal N · CC BY-SA 3.0



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけて、英国人の主要な保養地として栄えた高原の町で、当時のコテージや邸宅が今も残っています。街を散策し、赤レンガ造りの旧郵便局を訪れ、クイーンズ・ビクトリア公園やグレゴリー湖でくつろぎのひとときをお過ごしください。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

11日目 キャンディ(11〜12日目)

高原の都、キャンディへ向かう途中、紅茶工場とランボダの滝を望む展望台に立ち寄ります。到着後は市内の寺院や庭園を巡り、伝統舞踊ショーを鑑賞します。

紅茶工場見学

セイロンティーがどのように作られるかを学ぶため、稼働中の紅茶工場と茶園を訪れます。1824年に中国から茶の木が初めてロイヤル・ボタニカル・ガーデンにもたらされたことに始まり、1852年からジェームズ・テイラーによってキャンディ近郊のルールコンデラ農園で商業的に発展させられた歴史ある産業です。



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝です。あわせてマックウッズ紅茶園のガイド付き見学で茶の種類や加工方法を学び、ハッカラ植物園やグレゴリー湖畔の散策もお楽しみいただけます。

A.Savin · FAL



キャンディアン・カルチュラルショー

伝統的なスリランカの舞台芸術を1時間にわたって鑑賞できるショーです。ファイヤーダンサーや剣の舞、太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンサーの踊りが披露されます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0



仏歯寺

16世紀に建立された、仏陀の聖なる歯の遺物を安置し守るためのユネスコ世界遺産です。赤、クリーム、黒で彩られた広間を歩き、彫刻の施された柱や黄金の仏像を見学します。

A.Savin · FAL



ロイヤル・ボタニカル・ガーデン

19世紀初頭に造られたペラデニヤ王立植物園には、ラン、香辛料、薬用植物をはじめ4,000種以上の植物が植えられています。大砲の木や吊り橋、生垣の迷路なども見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

13日目 ダンブッラ(13〜15日目)

文化三角地帯の中心に位置するダンブッラを拠点に、自然湖やスパイスガーデン、シーギリヤ・ロック・フォートレスと村めぐり、古代都市ポロンナルワ、ミンネリヤ国立公園でのサファリ、そしてダンブッラ石窟寺院を巡ります。



センブワッタ湖

エルカドゥワ近郊に位置する湧水から形成された湖で、地元では深さ30〜40フィートと言われています。湖のほとりには湧水を利用した天然のプールもあります。

Sivanandhan Dishanthan · CC BY-SA 4.0



スパイスガーデン

コリアンダー、唐辛子、シナモン、カルダモン、ナツメグなどの香辛料やハーブとその用途について学ぶ、ガイド付きのスパイス&ハーブガーデン見学です。ロティやカレーパウダーをゼロから作る伝統的な調理実演もご覧いただけます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



シーギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王が築いた岩上の要塞で、巨大なライオンの爪をかたどった入り口から入場します。有名なフレスコ画を見ながら登り、段々畑式の庭園、今も機能する貯水槽、頂上の宮殿跡へと進みます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



シーギリヤ村めぐり

シーギリヤ近郊の伝統的な村の暮らしを体験します。牛車に乗り、村の湖でカタマランによるサファリを楽しみ、水田地帯を歩き、調理実演の後にはロータスの葉に盛られた手作りの昼食を味わいます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ミンネリヤ国立公園

5月から10月にかけて150頭を超える象が一箇所に集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られるミンネリヤでの3時間のサファリです。そのほか多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類にも出会えます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0



古代都市ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて栄えた、スリランカ第二の主要都市であった遺跡群です。ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の沐浴場、ランカティラカ寺院、そしてパラークラマバーフ王にまつわる像をご覧いただけます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀に遡る「ダンブッラの黄金寺院」です。5つの主要な石窟には仏陀の生涯を描いた壁画や数百体にのぼる仏像、神々の像が安置されており、外には大きな黄金の仏像も立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

16日目 トリンコマリー(16〜18日目)

東海岸のトリンコマリーでは、市内の寺院と要塞を訪れ、ニラベリ・ビーチでのんびり過ごし、ホエールウォッチング・サファリに出かけるほか、ピジョン島や歴史ある村ティリヤーヤを巡ります。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちにも称えられた古代寺院で、紀元前1580年に遡る洞窟聖堂と、その後紀元400年頃に整備された本堂から成ります。壁画にはこの地の歴史が描かれています。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



フレデリック要塞

もともとは1624年にポルトガルによって築かれたもので、彼らが破壊したコネスワラム寺院の石材が使用されました。その後オランダによって解体・再建されました。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ニラベリ・ビーチ

金色の砂浜、ヤシの木、透き通る海が広がる、スリランカ屈指の美しさを誇るビーチです。近くには、この土地がコネスワラム寺院に寄進されたことを記す10世紀のタミル語碑文も残っています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0



トリンコマリーのホエールウォッチング・サファリ

5時間にわたるツアーで、シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラに出会えるチャンスがあります。専門のナチュラリストが同行し、種の識別をサポートします。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

サンゴ礁に囲まれた2つの島からなり、繁殖するイワバトや多様なサンゴ、海洋生物の生息地となっています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

現在ティリヤイと呼ばれるこの村は、かつてタミル仏教の中心地でした。仏陀が二人の商人に髪の遺物を授けたとされる場所とされるギリハドゥ・セーヤ仏塔があり、ヴァンニヤール最後の首長の一人が築いた要塞の遺跡も残っています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

19日目 ジャフナ(19〜20日目)

かつて内戦の中心地であったジャフナ周辺の北部半島では、市街地そのものに加え、ナーガディーパとナイナティヴの島の聖地を訪れます。



ジャフナ

島の最北端に位置する都市と半島で、ナルール、ナイナティヴ、マヴィッタプラムといった古代ヒンドゥー教寺院、オランダ要塞、戦争記念碑、サラスワティ・マハル図書館、ナーガディーパ・ヴィハーラ、そしてジャフナ最後の王チャンキリ1世の宮殿跡があります。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナーガディーパ島

シンハラ人にはナーガディーパ、古代にはマニパッラヴァムとして知られるこの島は、ジャフナの北に位置し、蛇を信仰するナーガ族と結びついています。これはナイナティヴのナーガプーシャニ・アンマン寺院やナーガディーパ・プラーナ・ヴィハーラに反映されています。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0



ナイナティヴ・ナーガプーシャニ・アンマン寺院

プトレマイオスにも記録が残る、少なくとも2千年の歴史を持つヒンドゥー教寺院です。ドラヴィダ様式で建てられ、4つのゴープラムや複数のマンダパム、寺院の山車を備え、世界に64カ所しかないシャクティ・ピータムの一つに数えられています。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0

21日目 アヌラーダプラ

再び南へと向かい、スリランカ最初の主要都市であったアヌラーダプラの遺跡群を一日かけて巡ります。



アヌラーダプラ遺跡群

紀元10世紀まで1000年以上にわたりスリランカの首都であった都市で、仏塔や僧院の建物、池が広大な遺跡地帯に点在しています。かつて古代世界有数の高さを誇った建造物であるジェータワナラーマ、スリー・マハー菩提樹、アバヤギリ僧院の遺跡を訪れます。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

22日目 コロンボ & ネゴンボ(22〜24日目)

ツアーの最後は、コロンボでの市内観光と、空港近くのネゴンボでのビーチタイムで締めくくり、その後出発に向けてお送りします。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴールフェイス・ホテルとゴールフェイス・グリーン、ガンガーラーマ寺院、国立博物館など、首都の見どころを巡ります。ショッピングモールやブティック、デザイナーズショップもあわせてお楽しみいただけます。

Gihanud2001 · CC0



コロンボ・デイライフ

ビーチサイドのパーティーやカクテル、カジノ、深夜まで営業するおしゃれなレストランなど、コロンボの活気ある一面を体験する時間です。

Gihanud2001 · CC0



ネゴンボ

西海岸に位置するビーチタウンで、古くから漁業が盛んです。黄金の砂浜、マリンスポーツ、サンゴや海洋生物とともに楽しめるダイビング、そして沖合には50年前の難破船も沈んでいます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of, cost of fuel, parking & highway tolls.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges (Except for Credit Card Charges).

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.